

会議議事録

(1) 会議の名称、開催日時等

件名	令和6年度 第1回 美瑛町郷土学館運営協議会会議
日時	令和6年5月9日(木) 午後1時30分 ~ 午後2時40分
場所	美瑛町郷土学館 2階 学習体験室
出席者	委員 東海 しのぶ、藤原 悟、内藤 美佐雄、池田 幸則、春澤 秀之 町長 角和 浩幸 事務局 館長 才川 健一、次長 工藤 勝利、業務係長 荒明 慎久
傍聴	可能 傍聴者数：1名
問合先	美瑛町郷土学館 担当：荒明 電話：0166-74-6116

(2) 議事

議 題	
1	開会
2	町民憲章朗唱
3	委嘱状交付
4	町長あいさつ
5	委員及び職員紹介
6	委員長・副委員長選任
7	委員長・副委員長あいさつ
8	議題 報告第1号 令和5年度 郷土学館事業報告について 報告第2号 令和5年度 郷土学館入館者数について 議案第1号 令和6年度 事業計画(案)について 議案第2号 令和6年度 委員視察研修(案)について
9	その他
10	閉会
議事内容	
事務局	1 開会 定刻になりましたので、令和6年度第1回美瑛町郷土学館運営協議会会議を開会します。
事務局	2 町民憲章朗唱 はじめに、町民憲章の朗唱を行います。 <u>町民憲章朗唱</u>
事務局	3 委嘱状交付 続きまして、角和町長より委嘱状の交付を行います。お名前を読み上げますので、前の方にお 願いいたします。 <u>角和町長より出席委員5名に委嘱状交付</u>
事務局	なお、山下達也委員は本日欠席となります。
事務局	4 町長あいさつ 続きまして、角和町長よりご挨拶申し上げます。

角和町長	<p>改めまして皆様こんにちは。本日は令和6年度第1回美瑛町郷土学館運営協議会会議にご参加賜りましてありがとうございます。ただいま委嘱状を交付させていただきましたが、皆様大変お忙しい立場の方々でございますが、委員をお受けいただきまして本当にありがとうございます。これから2年間の任期でございますけれども、どうぞ皆様のお知恵とご経験を運営の方にアドバイスを賜りまして、活かさせていただきたいと思っております。なにとぞよろしくお願い申し上げます。先ほど町民憲章を皆様とご一緒に朗読させていただきました。その最後の項目“自然を愛し文化を高め豊かな郷土を作りましょう”がまさに郷土学館の運営に当たるのかなと思いつながりながら朗読させていただきました。美瑛町の歴史・文化・自然環境というものを学び体験できる場という位置づけが大変重要なものであると私も認識しているところであります。新しいことを知るとか体験するということは誰にとっても楽しいこととございますし、知的好奇心を満たしていくところとございます。そういうことを通してこのふるさと美瑛のことを学ぶことで、郷土愛が育まれていくのであらうなと感じているところであります。コロナも5類になって1年たちまして、経済活動も盛んになり、観光活動など様々な面で大きく広がり発展していくことが期待されているところとございますけれども、その一番の根本のところ足元のところは、郷土のことをよく知り学ぶということがすべての出発点になるのかなと思っております。町民の皆様はもちろんですが観光に訪れている方々も美瑛のことを知っていただくことで、より美瑛の魅力を発信していただけると感じているところであります。そういう意味で、重ね重ね皆様方のお知恵と経験によりまして、この郷土学館の運営が大変素晴らしいものになりまして、実り多い発展できる運営になりますよう、皆様方のお力添えをぜひ心よりお願い申し上げます。簡単ではございますけれどもあいさつに代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>なお、角和町長は、この後の公務のためここで退席させていただきます。</p>
事務局	<p>5 委員及び職員紹介</p>
事務局	<p>続きまして、委員及び職員の紹介を行います。東海委員より順番にお願いします。</p>
	<p>東海委員から事務局職員まで順番に自己紹介</p>
事務局	<p>6 委員長・副委員長選任</p>
事務局	<p>続きまして、委員長・副委員長の選任を行います。選任方法について、美瑛町郷土学館運営協議会設置要綱第4条の2のとおり委員の互選で決定となっておりますが、何かご意見はございますか。</p>
事務局	<p>特になければ事務局にて提案させていただきます。委員長に内藤美佐雄委員、副委員長に藤原悟委員にお願いできればと思っております。よろしく申し上げます。それでは、内藤委員長、藤原副委員長のお二人は前の席にご移動ください。</p>
事務局	<p>7 委員長・副委員長あいさつ</p> <p>それでは、内藤委員長、藤原副委員長、一言申し上げます。</p>

内藤委員長	ただ今、委員長に選任していただきました内藤でございます。前期に引き続いてということで、協議会の設置要綱を覗いてみますと平成28年7月1日に発足しているということで、今年で8年です。要綱の設置目的にあります、円滑な運営を図るため皆様の一層のご協力を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。
藤原副委員長	前回の任期に引き続きまして、副委員長を仰せつかりました藤原と申します。私、運営委員という他に、個人的に美宙のボランティアの方にも登録をさせていただいて、さほど力にはなっていないんですけれども、たまに子供たちと一緒に表を歩いたりさせていただいております。また、今後もそういった活動を通しながら、この美宙の運営に携わっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございます。それでは、次第8の議題の方に入らせていただきたいと思います。ここからの議題の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。委員長、よろしくお願いいたします。
内藤委員長	8 議題 早速議題に入らせていただきます。本日の議題、まず報告第1号について事務局説明をお願いします。
	報告第1号 令和5年度事業報告について、事務局より説明
内藤委員長	事務局報告は一つずつしますか？
事務局	一括で構いません。
内藤委員長	では報告第2号もお願いします。
	報告第2号 令和5年度郷土学館来館者数について、事務局より説明
内藤委員長	報告1、報告2について事務局より説明がありました。皆さんのほうからご意見などを出していただければと思います。
内藤委員長	コロナの影響はまだ引きずっているのでしょうか。
事務局	利用者の中には、コロナ前のことで申し上げますと、外国人の方もかなり多かったので、コロナによる影響はかなりあったと思います。その状況が少し変わってきてはいますが、昨年に関しては外国人の利用が少し少なかったと思います。
藤原副委員長	この一覧をきちんと見ていくと、前年度も含めてなんですけど、7、8、9月が比較的多く来館していただいているようなんですけども、これは、天の川、そういった天文的な部分の要素があ

	<p>るのか、それともが何か特別展のようなものの要素なのか。その辺、何かわかりますか。</p>
事務局	<p>天文台の利用者の方も見ていただければと思うのですが、夏のシーズンは確かに天候が比較的安定している日が多いので、天文台利用者数が増える傾向にあると思います。それに引きずられる形と言っていいのかわからないのですが、夏場の7月、8月、9月の利用者数が多いのだと思います。逆に、12月、1月は利用者数が少ないのですけれども、天文台の利用者数も同じように少なくなっています。美瑛は12月、1月はあまり天候が良くないので、天文台の利用者数も減ってしまいます。利用者数の波が月によってあるのは、天候や季節によるものが大きいかと思います。</p>
内藤委員長	<p>はい、他にございませんか。なければ皆様の拍手でご承認をお願いしたいと思います。</p>
	<p>拍手</p>
内藤委員長	<p>報告についてご承認をいただきました。引き続き議案に入ります。議案第1号令和6年度郷土学館事業計画案について説明をお願いします。</p>
	<p>議案第1号 令和6年度事業計画案について、事務局より説明</p>
内藤委員長	<p>ただいま令和6年度の事業計画について提案がありました。皆様の方からご意見、ご質問等ありますか。</p>
内藤委員長	<p>1ついいですか。昔の写真で振り返る美瑛は、集まった人の話を聞くと好評のようなんですけども、古い写真っていうのはここ郷土学館に保管してあるのですか。昔は図書館で保管していたような気がするのですが。写真だけでなく動画は。</p>
事務局	<p>図書館に保管しているものが大半です。あとは郷土史料保存会で収集したものを一部いただいているものがあります。そういったものと郷土学館に新たに寄贈された写真があります。その3種から使用しています。昔は図書館と郷土資料館が一緒の建物で、そういった棲み分けはされていなかったと思いますが、郷土学館ができてからは広報での周知もあり、こちらに集まることが多いです。動画については、家に8ミリフィルムがあり、一度見に来てほしいという電話をいただいています。貴重なものであればデータとして保管したいと思っています。</p>
内藤委員長	<p>皆様の方からはありませんか。</p>
東海委員	<p>昨年、美宙祭りというのを実施されて。いいなという風に思って聞いていたのですが、今年度についてはどうですか。</p>
事務局	<p>実施しようとは考えていますが、ジオパークと共同で実施するかどうかなど、まだはっきりしていない部分があり、日程も含めて検討中のため記載しておりませんでした。</p>

内藤委員長	<p>他にはありませんか。それでは、議案第1号、令和6年度郷土学館事業計画案について、承認される方は拍手をお願いします。</p> <p>拍手</p>
内藤委員長	<p>それでは、引き続いて議案第2号 令和6年度運営協議会委員視察について、事務局から説明を。</p>
事務局	<p>今年に委員になられた方もいらっしゃいますので説明させていただきますと、郷土学館を運営していくにあたって、他の博物館ですとか天文台ですとかの施設を視察し、これからの運営改善に役立てることを主な目的として、年に1回視察を行っています。この数年はコロナ禍ということもあって一時視察自体が中断している年もありますが、近隣の博物館の視察に行っています。鷹栖町や当麻町ですとか。コロナ前は、天文台も含めて、名寄にも行ってるのですが、郷土学館で所有している移動式プラネタリウムがコロナであまり稼働していないこともあり、プラネタリウムの活用を考えていきたいなと思っています。今年の視察場所の案として挙げさせていただいたのが陸別町の銀河の森天文台です。お手元にパンフレットがあるかと思えます。プラネタリウムと記載されていますが、移動式のプラネタリウムを常設し運営しています。小学校での利活用を含めて運営の参考にできればと考えています。1泊での予算を計上していますので、1泊で行ける場所であれば銀河の森天文台以外も視察することができます。</p>
内藤委員長	<p>令和6年度の委員視察研修についてのご提案です。皆様の方からご意見等いただきたいと思えます。</p>
春澤委員	<p>近くだと旭川の公園の中に、今使ってるかどうかかわからないですけど、天文台ありますよね。</p>
事務局	<p>はい。常盤公園は建物だけ残っていて、中の望遠鏡は旭川市科学館に移っています。</p>
春澤委員	<p>そうですか。せっかく郷土資料館と天文台が併設されているので、そういったの（天文に関する場所の視察）も必要かなと思いますね。</p>
事務局	<p>郷土資料館といいますか、博物館館と天文施設がくっついているという意味では北見市の文化センターがあります。プラネタリウムもあります。</p> <p>銀河の森天文台はパンフレットを見ていただくと夏場は22時30分まで開館しています。</p>
春澤委員	<p>陸別の天体望遠鏡はできた当時、日本でも1、2を争うような大口径の反射望遠鏡ということで有名になりました。</p>
内藤委員長	<p>それでは、基本的に陸別を計画するということがよろしいですか。</p>

内藤委員長	<p><u>委員の皆さん頷く</u></p> <p>ありがとうございます。では次にその他の郷土学館 18 時以降の入館者数について。</p> <p>9 その他</p> <p><u>郷土学館 18 時以降の入館者数について、事務局より説明</u></p>
内藤委員長	事務局に職員が誰もいなくて非常に物騒だということですね。
事務局	現状、勤務体制によっては 18 時以降の運営に関して職員が一人になってしまうことや、開館直後も一人になってしまうことがあり、天文台を見学したいというお客様に対応すると事務所を空にして、安全管理上好ましくない状況があります。このため、利用状況のデータを取りましたが、18 時以降の入館者は非常に少なく、開館時間を 18 時までとしてはどうかと検討しています。
内藤委員長	事務局の方で、他の社会教育施設だとかそういうものと、あるいは類似町村の事例を調べてどうしていくかを決めていかないと。ここでどうしますとは条例上のこともあるし言えないですが、ちょっと時間かかるかもしれないですね。他に皆様からのご意見は。
春澤委員	ボランティアの方を活用するというのはできないんですか。天文台は職員が対応して、受付はボランティアが行うとか。
藤原副委員長	私もここに 1 年位務めさせていただいた経験では、天文台の延長を行うとオフィシャルに行っているときは職員が複数体制なのです。今問題としているのは日常業務の中で開館時間が 19 時までとなっていて、天文台を見たいという人がいると 1 階に誰もいなくなってしまうということです。お客さんがいるかいないかは別として、ボランティアさんを毎日確保しなくてはならなくなる。
春澤委員	郷土学館の中には職員を入れてくれないから、しょうがないですよ。増やしてくれないから。
内藤委員長	あまり先延ばしにしないようにして、理事者も交えて事務局で協議してみてください。その他、事務局の方に何か提案はありますか。なければ本日の提案あるいは協議事項は終わります。以上をもちまして令和 6 年度第 1 回郷土学館運営協議会会議を終了します。

以上